

若葉のしらべ

学校教育目標：「心豊かで 主体的に学ぶ子どもの育成」

めざす子ども：はつらつとした笑顔とあいさつ くり抜く粘り強さとあたたかい心 まわりの人と考え合い高め合う
ひと自分も大切にす かつこう・友だち・地域もだいすき しゅかいで生きる力を伸ばす わかばっ子

「言葉に“本気の思い”を乗せる」

校長 安岡 寛

先日、中学生のお子さんをもつ保護者の方と話す機会がありました。

その方が、中間テスト当日の朝、お子さんの目を見ながら、両手を肩に置き、「大丈夫。できる、できる、必ずできる。」と言葉をかけると、お子さんは弾けるような笑顔で「うん。がんばってくる。」と答えたそうです。保護者の方の思いが、お子さんに伝わったんだろうなあと、聞いている私もうれしくなりました。

「ピグマリオン効果」という言葉をご存知でしょうか。

「この子は伸びる。」「きっとできるようになる。」と信じて、「大丈夫。あなたならできる。」と言葉をかけると、相手は「自分は期待されている」「できると思われている」と感じ取り、その期待に応えようとする。そして、良い結果に結びつく。これがピグマリオン効果です。

一方、同じ言葉でも、「この子に言っても無理かな。」「できるようにならないと思うけれど、とりあえず言葉をかけておこう」と思いながらかけると、相手は「『あなたならできる』と口では言うけれど、できないと思われている」「自分は期待されていない」と感じ取り、「期待されていない」という期待に応えようとする。そして、良い結果が得られない。これを「ゴーレム効果」と言います。

「あなたならできる」と言われても、表情やしぐさ、言い方等から、言われた相手の本気度を感じ取るのです。

「どんな言葉をかけるのか」はとても大切なことです。

ただ、それと同時に、いやそれ以上に大事にしたいのは、「言葉に“本気の思い”を乗せる」ということだと思うのですが、いかがでしょうか

大切なお子さんへの言葉がけに、みなさんの“本気の思い”を乗せませんか。

子どもたちに育みたい非認知能力⑥「よい行動をほめる」

子どもの非認知能力を育むために、大人ができることの一つが、「ほめる」ということです。

例えば、ルールを守れた子どもに対して、「ちゃんと守れたね。えらいね。」と言葉をかけることは、「ルールを守れたことは『価値のあること』として認める」ということになります。

子どもが「ルールを守ることが価値のあることだ」と認識したとき、非認知能力が育つと言われています。昔から「子どもをほめて育てよう」と言われますが、非認知能力を育むという視点から見ても、理にかなったことなのです。

※本校では、「子どもの非認知能力の育成」にかかわって、中山芳一さん(AII HEROs 合同会社代表、前・岡山大学教育推進機構准教授)にご指導いただきながら取組を進めています。

12月の主な予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2 人権週間(～6日) 委員会⑥ 2年町たんけん AM 学校評価入力 (～10日まで)	3 5年校外学習 (鈴鹿サーキット) 6年葉山中学校入学 説明会(13:30)	4	5 交流指導 4年菜めし田楽給食	6 光あつまればかぼか 人権集会② 人権の日(さわ東タイム)	7
8	9 クラブ⑥	10 ハンカチ 歯みがきの日 たてわり遊び (さわ東タイム)	11 1年副籍交流 (さわ東タイム③)	12 交流指導 6年修学旅行1日目 (広島方面) 1年保幼小交流会 (②さわ東タイム)	13 6年修学旅行2日目 (広島方面)	14
15	16 全校5校時授業 14:35下校	17 わくわく味噌汁づくり ②	18	19 交流指導 全校5校時授業 14:55下校	20 給食終了 全校4校時授業 13:25下校 わかば相談	21
22	23 全校3校時授業 11:40下校 大掃除② 後期前半終了	24	25	26	27	28
冬休み 12/24(火)～1/6(月)						
29	30 学校閉庁	31 大晦日 学校閉庁	2025年1/1 元日 学校閉庁	2 学校閉庁	3 学校閉庁	4
冬休み 12/24(火)～1/6(月)						
5	6 冬休み 12/24(火)～1/6(月)	7 後期後半開始 全校3校時授業 11:40下校	8 全校4校時授業 12:00下校	9 給食開始・交流指導 全校5校時授業 14:55下校	10	11

～11/21(木)防災教室を行いました～

お知らせとお願い

今年度(3月まで)中に転居予定のある方は、来年度の学級数に関わりますので、できるだけ早く担任へ連絡してください。決定していなくても、予定の情報でも結構です。

どうぞよろしくお願ひします。



1・2年煙体験



3・4年地震体験、見学



3・4年防災倉庫見学



5・6年救命入門コース

中消防署・栗東市危機管理課の方に来ていただき、「いざと
いうとき」の行動などについて教えていただきました。